

感染症予防衛生隊研修会報告

(公社)東京都ペストコントロール協会 理事・感染症委員長 渡邊 徹

去る5月28日アルカディア市ヶ谷において平成30年5月度「感染症予防衛生隊研修会」を実施した。当年度は感染症予防衛生隊有効登録18社でのスタートとなり、各社より責任者・隊員各1名計2名、他に新規2社、再受講1社計6名を加え42名の参加を得ての開催となった。

従来の研修会は講義2席、ガウンテクニック演習を主としたが今回のみ様相を変えた。

表1 研修プログラム

13:00 ~ 13:10	10	挨拶	会長 清水一郎
13:10 ~ 14:10	60	ノロウイルスについて	国立医薬品食品衛生研究所 野田 衛先生
14:10 ~ 14:30	20	事例報告 救急車対応・水害対応	感染症委員 蒲田 春樹
14:30 ~ 14:50	20	殺虫剤散布試験結果について	技術委員 佐々木 健
14:50 ~ 15:10	20	休憩	
15:10 ~ 15:40	40	感染症対策実施計画書説明	技術委員長 谷川 力
15:50 ~ 16:10	20	各ブロック名刺交換 全体自己紹介・連絡体制について	感染症委員長 渡辺 徹
16:10 ~ 16:30	20	契約先と過去実績	感染症委員長 渡辺 徹
16:30 ~ 16:50	20	質疑応答	

休憩の後、五つのブロック分かれて着席しブロック毎各社の名刺交換の後、全員が一人ずつ氏名、社名、所在地を述べて自己紹介を実施した。

これまであちこちで顔を合わせることはあっても感染症対策のパートナーとなる人物との顔合わせ実施されておらず貴重な機会となったと考える。

また全員のメールアドレス、連絡先を確認し模擬発注を実施して本当に対応ができるのか検証することとした。

表2 ブロック図

第1ブロック			第2ブロック			第3ブロック				第4ブロック			第5ブロック								
銀座化成産業(株)	新宿営業所	イカリ消毒(株)	(株)東京三洋	アペックス産業(株)	○(株)三共消毒	シェル商事(株)	(株)ヨシダ消毒	(株)環境衛生	サービスセンター	サービス(株)	ジェイ・ビー・シー・	東京企業(株)	日本環境衛生(株)	○(株)シマダ	○(株)シー・アイ・シー	衛生営業所	(株)三幸	エーデル商事(株)	エコア(株)	(株)奥田建物管理	(株)中央社

○は1～2類感染症対応可能

またアンケートを実施し、参加者全員から予防衛生隊の活動内容について理解したとの回答を得た。講義内容についてもすべての講義について半数以上が有益とされ、特に野田先生による「ノロウイルス」については出席者の82%が有効と回答された。

研修会には新しい知見に触れることと、反復履修してスキルを確実に身に着けるといふたつの意味があると思う。野田先生の講義が好評であったのは、感染症の基礎的な病理から対処方法まで分かり易くお話し頂いた故であり、参加者が求めているのはこうした重要な知識を分かり易く伝えて行くことにあると確信した。

今後は「感染症」そのものの基礎知識とそれぞれの疾病の病理と対処法について同様の講義を重ねたいと考える。

その一方、やはりガウンテクニックの反復履修は欠かせない。研修規則では年に2回、社内でのトレーニングを求めているがその基本となる正しい情報は定期的に発信する必要があると2回のうち1回はガウンテクニックを実施したい。また、アンケートで「今後の希望」を訪ねたところ、「実務的な研修」「現場研修」を求める声があった。特に1類対応の作業については防護服の脱着を1度したのみでアイソレータを見た事もない方がほとんど思われる。とても臨場できるとは思えない。1～2類はもちろんの事、3類以下の感染症についても現場実習は難しいとしても、もっと実務的な研修を用意する必要があると感じた。

研修会を実施する目的は、登録のための手続きのためだけではなく、必要な知識、手技を身に着け「不安なく臨場できること」確信得ることに尽きる。

感染症委員会は10名の委員の参加を得、衆知を集めることが可能となった。

今回はこのスタートラインであり、今後は日常のPCO業務の延長線上にある業務のひとつとして協会員の皆さんが感染症対策を位置づけられる様に理解を深める機会として、委員会の総力を挙げて充実した研修会を重ねて行きたいと考える。



図1 研修風景



図2 研修風景